



明星 第168号
令和8年3月13日
キャリア支援部
進路支援班

1. 全盲のIT技術者・浅川智恵子さんに学ぶ

皆さんは、浅川智恵子（あさかわ ちえこ）さんを知っていますか。東京の日本科学未来館へ行ったことのある人なら分かると思います。

浅川さんは1958年 大阪府豊中市生まれ。小学校5年生の時に水泳中の事故で視力が低下し、中学校2年生の時に失明。その後盲学校で学び、1982年 追手門学院大学文学部イギリス・アメリカ語学文学科卒業。1984年 日本ライトハウス情報処理学科修了。日本IBM学生研究員として点字翻訳システムを開発されました。

1985年 日本IBM入社。東京基礎研究所に配属され、1992年 日本語デジタル点字システムを開発。1997年 視覚障がい者向け音声読み上げブラウザ「IBMホームページリーダー」を開発。2004年には東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程を修了して工学博士号を取得。2014年にはカーネギーメロン大学の客員教授としてアメリカ・ピッツバーグへ赴任されました。

「IBMホームページリーダー」はその後も改良が重ねられ、現在では音声補助アプリとして視覚障がい者の社会参加に重要なツールとなっています。

その後、2020年には日本IBMと協賛企業4社が開発に参加する「AIスーツケース」の発起人兼技術統括者に就任。2021年には日本科学未来館の第2代館長に就任。2022年には「AIスーツケース」の実証実験が北海道の新千歳空港で行われ、2025年には大阪・関西万博の会場内でも「AIスーツケース」の実証実験が行われました。

「AIスーツケース」は、スーツケースの形をしていて、モーターとカメラとセンサーが付いていて、盲導犬と同じように視覚障がい者を予め設定した目的地まで安全に誘導してくれる自走式のナビケーションロボットです。

また、浅川さんは1999年の厚生労働大臣賞、2011年の文部科学大臣賞、2013年の紫綬褒章をはじめ、数々の権威ある賞を受賞されています。

筆者は、平成8年（1996年）に東京で行われ、浅川さんが登壇された全国盲学校情報教育研修会に出会したことがあります。

この研修会では、浅川さんが当時まだ開発途上だった音声補助装置を使って、パソコンの基本操作やホームページの読み方、メールの送受信などについて熱心に指導されました。

当時はまだウィンドウズ95の時代で、筆者はまだ自分用のパソコンは持っておらず、白黒のワープロ専用機で仕事をしていました。また、校内のインターネット環境もまだ整備されていませんでしたので、ネットもメールもよく分かりませんでした。が、「すごい時代が来たな」というワクワク感はありました。

あれから30年がたち、1人に1台のパソコン、スマートフォンが当たり前になり、国民の誰もがネットやメール、SNSの恩恵を受けられる時代になりました。

かつて視覚障がい者は「情報弱者」と呼ばれていましたが、現在では音声補助アプリのおかげで視覚障がい者もネット上の様々な情報にアクセスすることが出来、メールやSNSを使って様々な人とつながることが可能になりました。ネットショッピングやキャッシュレス決済を利用することも可能になりました。浅川さんのおかげで、私たち視覚障がい者のQOL（生活の質）が大幅に向上し、私たちは今や「情報弱者」ではなくなりました。こんな時代が来ることを、30年前に誰が予想出来たでしょうか。

浅川さんの生き方は、私たちに「あきらめなければ道は開ける」ことを教えています。卒業生、在校生の皆さんも、あきらめなければ道は開けます。卒業生、在校生の皆さん、それぞれの夢の実現に向かって、挑戦を止めてはいけません。冒険を止めてはいけません。

この記事は、インターネット百科事典「ウィキペディア」より引用させて頂きました（編集有り）。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%85%E5%B7%9D%E6%99%BA%E6%81%B5%E5%AD%90>

2. 進路支援班 2学期～3学期の取組

本校では、2学期から3学期にかけて様々な進路関係の行事が行われましたが、令和7年12月5日 金曜日に行われた進路講演会については前号で報告済みですので、今回は理療科関係の行事についてのみご報

告させて頂きます。

- ① 国家試験受験者集会（１回目） 令和７年１０月２２日 水曜日
あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師国家試験の出願書類を受験生に配付し、書類の記入方法や出願から国家試験当日までの流れについて細かい説明を行いました。
また、練習用にコピーした書類に実際に記入する練習を行いました。
- ② 国家試験受験者集会（２回目） 令和８年２月２０日 金曜日
最初に校長から受験生へ激励のお言葉を頂きました。
次に、受験生に決意発表をしてもらいました。
次に、川野理療科主任より、国家試験当日の心構えや注意事項について詳しいお話がありました。
- ③ あん摩マッサージ指圧師国家試験 令和８年２月２１日 土曜日
はり師・きゅう師国家試験 令和８年２月２２日 日曜日
専攻科理療科３年生１名があん摩とはりきゅうの試験を受験しました。
既卒者３名もあん摩とはりきゅうの試験を受験しました。
国家試験のレベルは年々上がっていますので、理療科の在校生の皆さんは相当な覚悟を持って勉強に取り組んでほしいと思います。
- ④ 国家試験受験者体験報告会 令和８年２月２５日 水曜日
国家試験受験生４名のうち、１名が体験報告を行いました。普通科の生徒と理療科の在校生にとっては、良い刺激になったと思います。
- ⑤ 理療科職場見学（治療院見学） 令和７年８月６日 水曜日
今回は、心配していた台風の影響もなく、予定どおりに実施できました。専攻科理療科３年生１名と引率者の２名で行きました。
今回は、高鍋町にあるはりこや鍼灸院を見学しました。ここは経絡治療を中心に行っている治療院で、本校出身の大庭康資（おおば やすし）先生が院長をされています。
生徒は、東洋医学に関する専門的な質問をするなど、自分の将来の就労の姿をイメージしながら、真剣に見学していました。

文責：教諭 上野 一磨